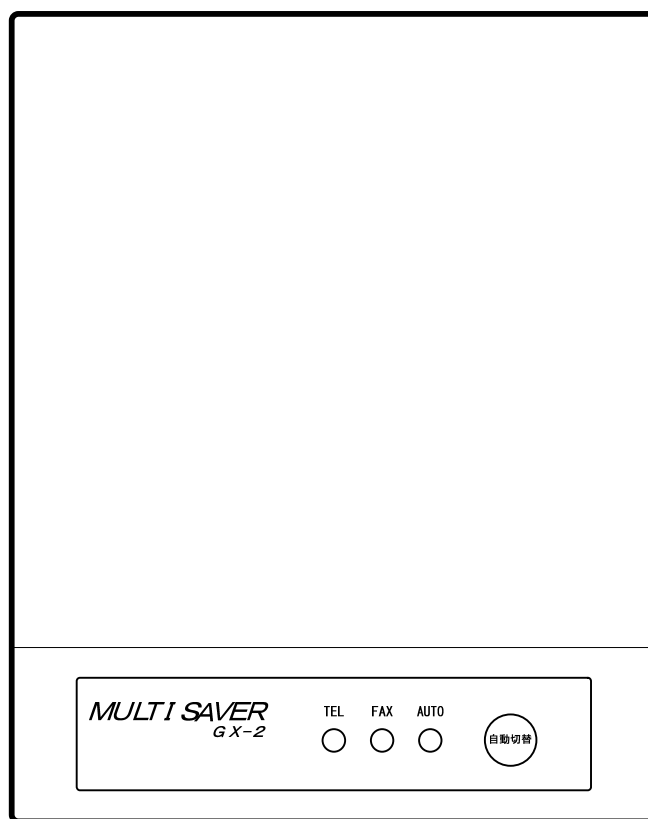


MULTI SAVER 回線自動切替機
G X-2 マルチセーバー

取扱説明書



株式会社モリテック

安全にお使いいただくために

このたびは、マルチセーバー（GX-2）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本「取扱説明書」には本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が記載されています。内容をよくご理解のうえ、正しくご使用ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、『死亡または重傷』を負う恐れのある警告事項が書かれています。
必ずこの警告事項をお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、『障害』を負う恐れのある注意事項、および『物的損害』の発生する恐れのある注意事項が書かれています。
必ずこの注意事項をお守りください。



警告

- 本装置に水が入ったり、濡らさないようにしてください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 万一、本装置に水がかかったとき、ただちに電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 電源プラグは、必ずAC100Vの家庭用電源コンセントに接続してください。
それ以外の電源に接続すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
- 電源プラグのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、無理に引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。
電源プラグのコードが破損し、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 流し、風呂場、加湿器のそばなど、湿度の高いところでは、使用しないでください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置の上や、近くに花瓶、植木鉢、コップなどの水や薬品の入った容器を置かないでください。
こぼれて、本装置に水や薬品が入ったとき、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ストープ、ガスコンロのそばなど、温度の高くなる場所では使用しないでください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置を分解したり改造しないでください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 万一、本装置を落としたり破損した場合は、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために



警告

- 万一、本装置から煙がでていたり、変な臭い（焦げ臭い）がするなどの異常があった場合は、ただちに電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 近くで雷が発生したときは、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
回線接続のモジュラーコードを電話回線から抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置に電源が入っているときは、電話回線用ネジ端子・電話接続用ネジ端子に手を触れないでください。
電話を呼び出しているとき、高い電圧がかかります。
無理に手を触れると感電の原因となることがあります。



注意

- 直射日光の当たるところや、温度の高い所に置かないでください。
内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。
- 電源プラグをAC100Vコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源プラグのコードを引っ張って抜いたりすると、コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本装置の上に重い物（例えばFAXなど）をのせないでください。
火災、故障の原因となることがあります。
- 落としたり、強い衝撃を加えないでください。
火災、故障の原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具（ストーブなど）に近づけないでください。
コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本装置を壁掛けでご使用の際は、しっかりとした壁に付属のネジで固定してください。
不安定な状態での取り付けは、落下して、けがの原因となることがあります。
- 毛足の長いジュウタンやカーペットなどの上に置かないでください。
繊維が内部に入り込んで、火災の原因となることがあります。

もくじ

頁

安全にお使いいただくために	1~2
---------------	-----

マルチセーバー（GX-2）とは

箱の中身を確認しましょう	4
レンタル電話が不要となる場合は	5
各部の名称	6~7
表示ランプ	8
自動切替ボタン	9
設定スイッチ	9

接続方法

電話回線の接続	10
電話機の接続	11
FAXの接続	12
電話／FAX一体型機器の接続	12
電源プラグを差し込みます	13

基本操作を覚えましょう

—電話の操作—	
電話をかける	14
電話を受ける	15
受けた電話をFAXに切り替える	16
—FAXの操作—	
FAXを送る	17
FAXを受ける	18
—自動切替ボタンの操作—	
自動切り替えを解除する	19
自動切り替えをセットする	19

こんなときには

手動でFAXが送られてくる	20
FAX端子にパソコン（モデム）を接続する	21
自動切り替え監視時間を変更する	22
電話にだけ着信させる	23
FAXにだけ着信させる	24
電話に応答しないときFAXを呼び出す	25
ピンク電話を接続する	26
ビジネスホンの主装置を接続する	26
電話回線の極性を調べる	27
困ったときのアドバイス	28

お問い合わせ・保証について

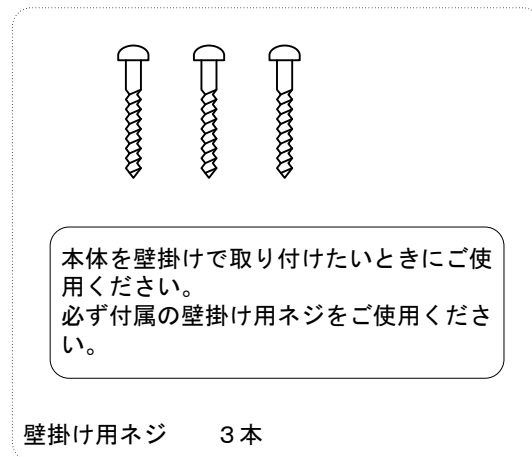
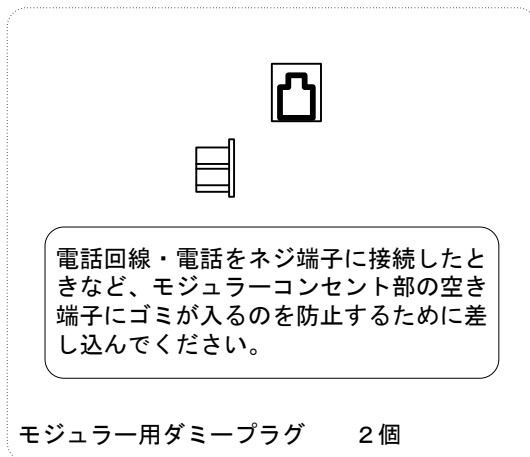
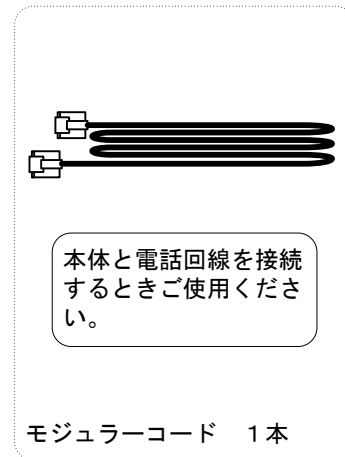
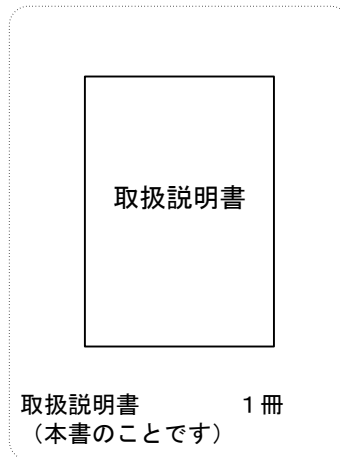
お客様サポートセンターへのお問い合わせ	29
保証について	29
マルチセーバーを修理に出されるときのご願い	30

主な仕様	30
------	----

マルチセーバー (GX-2) とは

◎箱の中身を確認しましょう

本装置には、つぎのものが同梱されています。
本体と下記の付属品がそろっているか、必ずご確認ください。
万一、不足しているときや、違ったものが入っていたときは、お買い求めの販売店が弊社までお知らせください。



壁掛け用型紙	1枚
保証書	1枚

マルチセーバー（GX-2）とは

◎レンタル電話が不要となる場合は

NTTのレンタル電話が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。

ご連絡いただいた日をもって、（機器使用料）は、不要となります。

詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

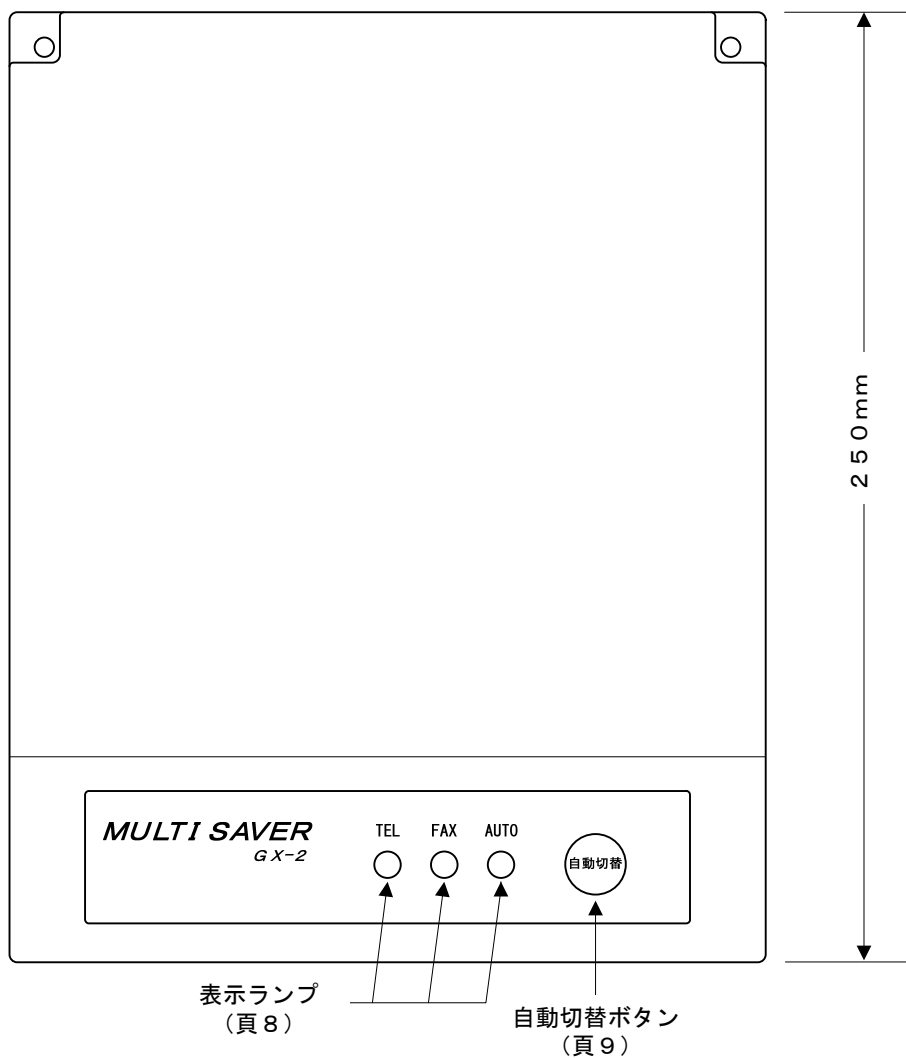
〔電話料金の内訳〕

①回線使用料	ご契約者名義により住宅用と事務所に区別され、回線使用料が異なります。
②屋内配線使用料	保安器から屋内の電話機の差し込み口までの屋内配線をNTTからレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
③機器使用料	NTTの電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
④付加機能使用料	プッシュ回線、短縮ダイヤル、ボイスワープ、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料です。

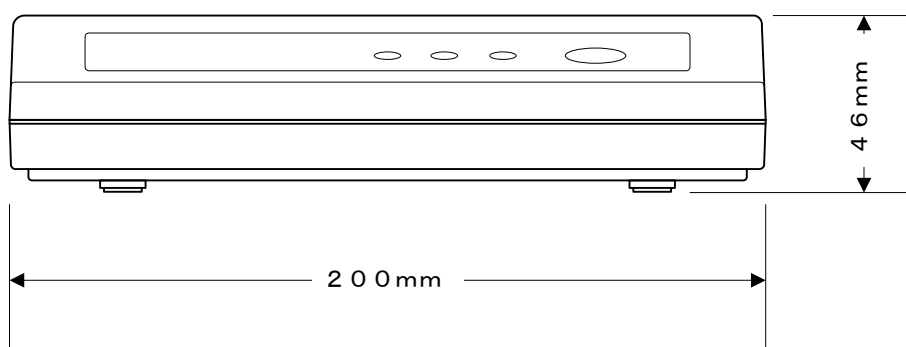
マルチセーバー (GX-2) とは

◎各部の名称

●表面



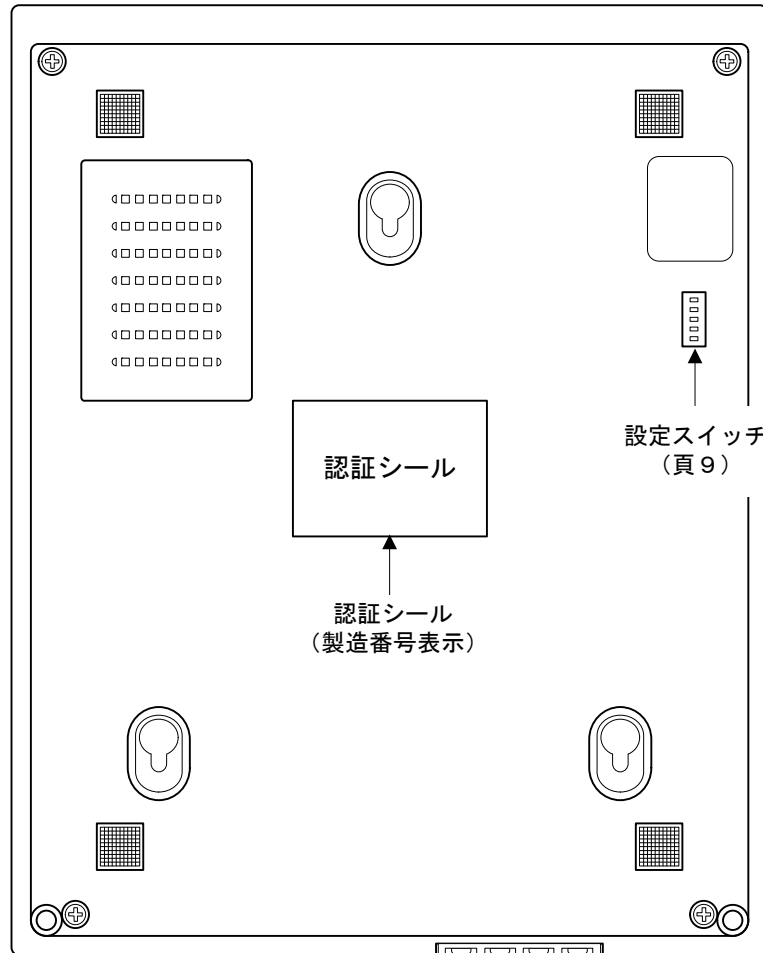
●前面



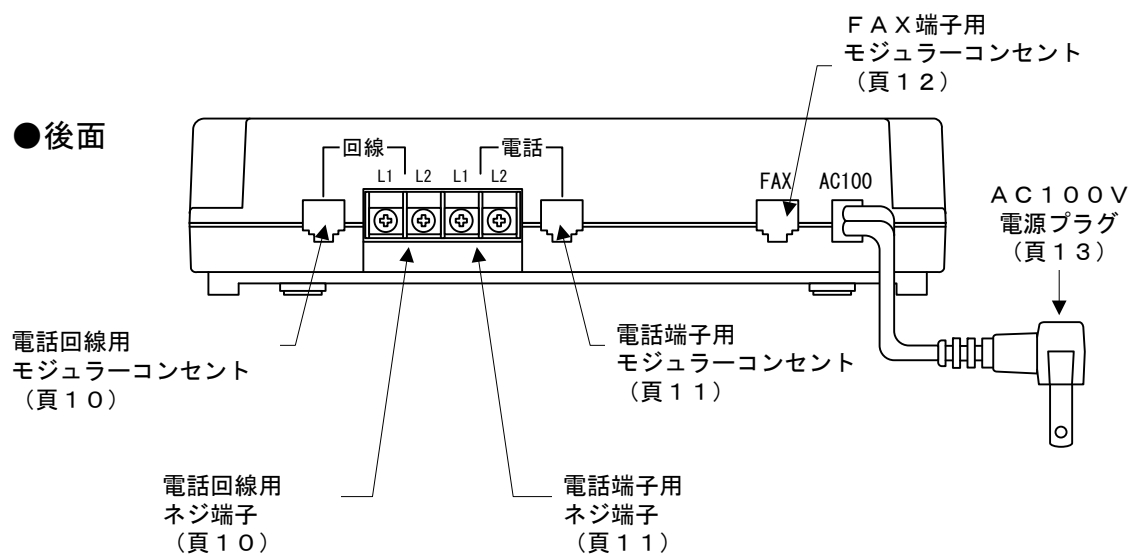
マルチサーバー (GX-2) とは

◎各部の名称

●裏面

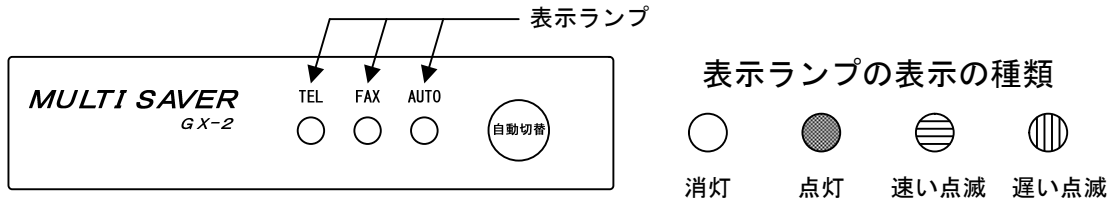


●後面



マルチセーバー（GX-2）とは

◎表示ランプ

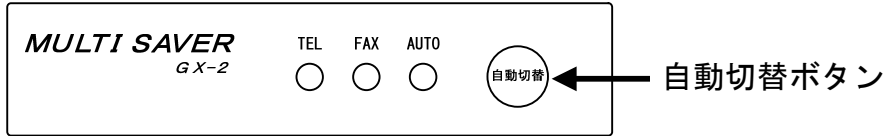


マルチセーバーは動作状態によって、下記のようにTEL・FAX・AUTOの各表示ランプの表示が変化します。

TEL FAX AUTO	マルチセーバー（GX-2）の動作状態
○ ○ ○	電源が接続されていない状態
● ● ●	電源を接続した直後の状態
● ● 縞	内部の初期化動作中の状態
○ ○ ●	自動切り替えの待機中
● ○ ○	電話着信優先の待機中
○ ● ○	FAX着信優先の待機中
縞 ○ ○	電話端子の呼び出しまたは、通話中（電話着信優先）
○ 縞 ○	FAX端子の呼び出しまたは、通話中（FAX着信優先）
縞 ○ ●	電話端子の呼び出しまたは、通話中（自動切り替え）
○ 縞 ●	FAX端子の呼び出しまたは、通話中（自動切り替え）
縞 縞 ●	自動切り替えの動作中
縞 縞 縞	自動切り替え監視時間などの設定中

マルチセーバー（GX-2）とは

◎自動切替ボタン



マルチセーバーの自動切替ボタンの機能は

『自動切り替えの解除とセット』頁19参照

『電話にだけ着信させる』頁23または、『FAXにだけ着信させる』頁24の設定以外のときは自動切替ボタンを押しても自動切り替えの解除はできません。

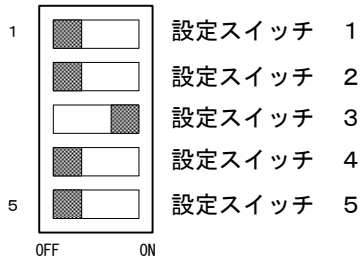
『自動切り替え監視時間などの設定切り替え』頁22～頁23参照

『電話回線の極性を調べるときの極性試験の切り替え』頁27参照

上記3項目の切り替えを行います。

◎設定スイッチ

マルチセーバーの裏面にある設定スイッチをONにすると、下記に示す機能設定ができます。



工場出荷時は、3をON 他は、全てOFF に設定。

お客様のご使用状況に応じて、各スイッチの設定を行ってください。

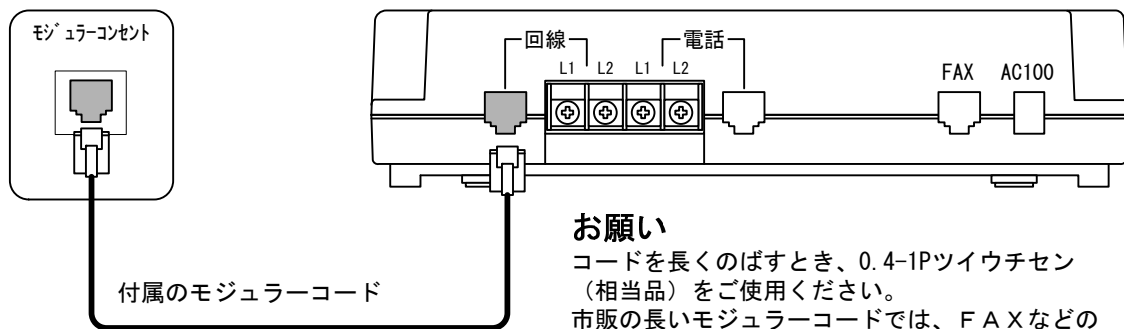
1	コードレス電話機などを接続されて、親機のベルは鳴るが子機のベルが鳴らないときなど。
2	相手の方が手動でFAXを送ってくるとき。
3	電話/FAX一体型機器を電話端子に接続するとき。
4	未使用
5	自動切り替え監視時間を変更するときなど。 (OFFに設定し、電源を入れ直せば工場出荷時の設定値に戻ります。)

接続方法 —電話回線—

◎電話回線の接続

- 電話回線がモジュラーコンセントのとき

付属のモジュラーコードを、カチッと音がするまで差し込む。

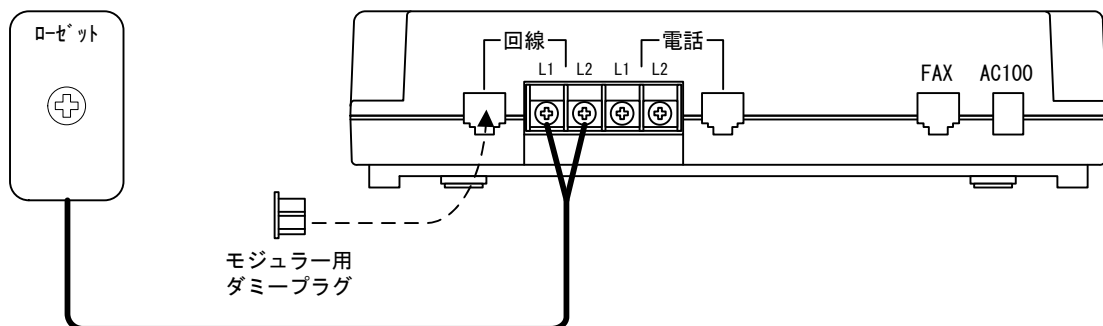


お願い

コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、FAXなどの通信に障害を及ぼすことがあります。

- 電話回線がローゼット（ネジ止め）のとき

そのままでは接続することができませんので、お買い求めの販売店にご相談ください。
（ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。）



お願い

マルチセーバーに接続できる回線は、一般加入者回線です。
ISDN回線やダイヤルイン、ナンバーディスプレイサービス回線には、直接接続することはできません。
また、ビジネスホンやPBXの内線に接続することはできません。

電話端子に、ホームテレホンやビジネスホンの主装置などを、接続される場合は、電話回線の極性を合わせて接続してください。

電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しない機器があります。

ピンク電話を接続される場合は、必ず電話回線の極性を合わせてください。
電話回線の極性を正しく合わせないと、正常に動作しません。

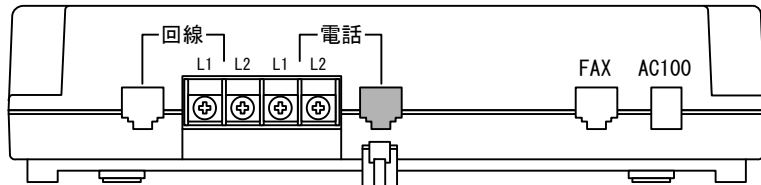
詳細な内容は、ご使用になる機器の取扱説明書を参照してください。

接続方法 — 電話機 —

◎電話機の接続

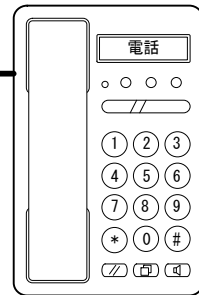
- 電話機のコードがモジュラープラグのとき

電話機のモジュラープラグを、カチッと音がするまで差し込む。



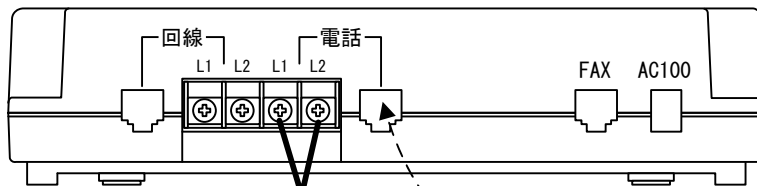
お願い

マルチサーバーの電話端子に接続できる電話機は、1台です。電話機を複数台お使いになるときは、ホームテレホンや、ビジネスホンをご利用ください。無理に複数台の電話機を接続すると、正常に動作しなくなることがあります。また、コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。市販の長いモジュラーコードでは、正常に動作しないことがあります。また、ナンバーディスプレイ機能のある電話機を接続される場合は、ナンバーディスプレイ機能はご利用できません。



- 電話機のコードがネジ止め式のとき

そのままでは接続することができませんので、お買い求めの販売店にご相談ください。（ネジ端子に接続するには、工事担任者の資格が必要です。）

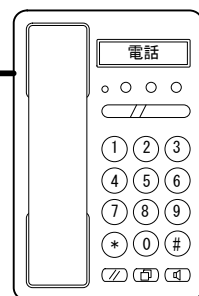


モジュラー用
ダミープラグ



警告

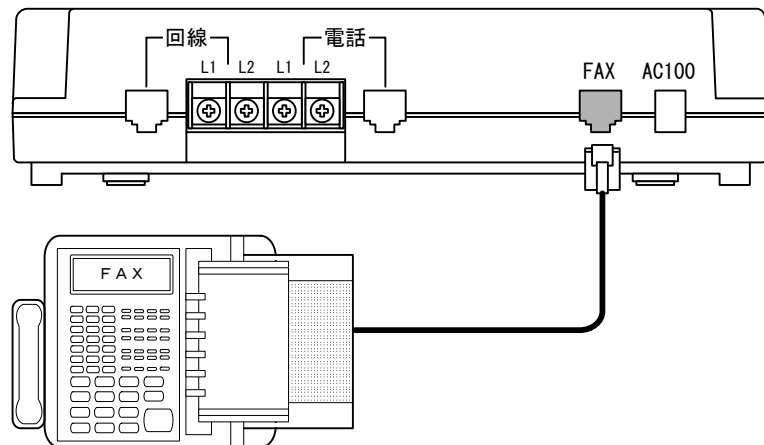
電話用ネジ端子に電話機を接続するときは、必ず電源プラグをAC 100Vコンセントから抜いてください。接続作業中に電話がかかってきたとき、ネジ端子に高い電圧がかかります。ネジ端子の金属部分には、手を触れないようにしてください。



接続方法 — F A X —

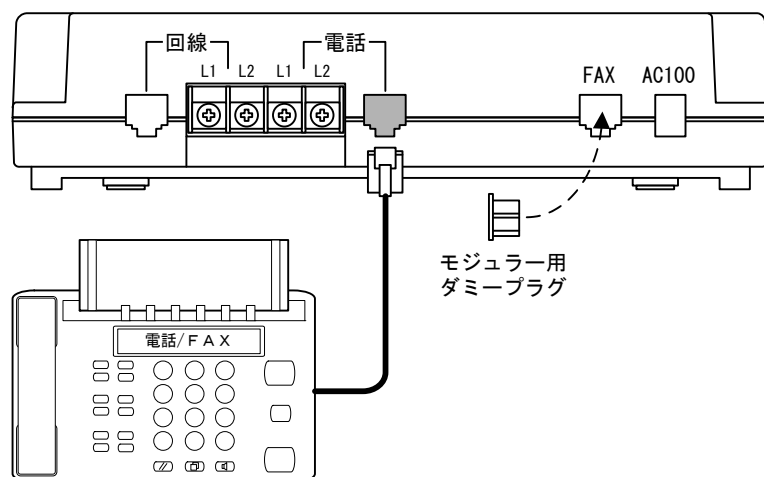
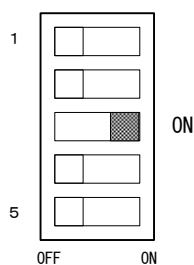
◎ F A Xの接続

F A Xのモジュラープラグを、カチッと音がするまで差し込む。



◎ 電話／F A X一体型機器の接続

設定スイッチの 3 をONに設定し、マルチセーバーの電話端子用モジュラーコンセントに、電話／F A X一体型機器のモジュラープラグを、カチッと音がするまで差し込む。



お願い

コードを長くのばすとき、0.4-1Pツイウチセン（相当品）をご使用ください。
市販の長いモジュラーコードでは、F A Xの通信などに障害を及ぼすことがあります。
また、ナンバーディスプレイ機能のあるF A Xなどを接続される場合は、ナンバーディスプレイ機能はご利用できません。

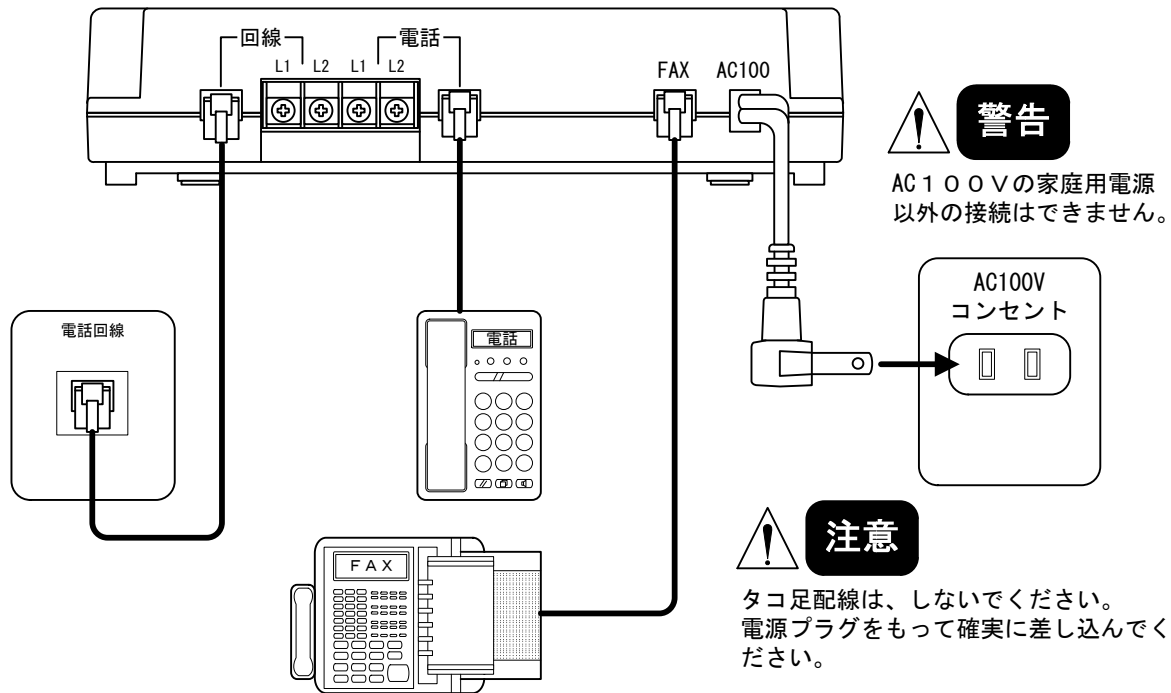
NTTのF網（ファクシミリネットワーク）サービスをご契約されるときは、必ず16Hz鳴動着信の契約をお選びください。

無鳴動着信（1300Hz）のご利用は、できません。

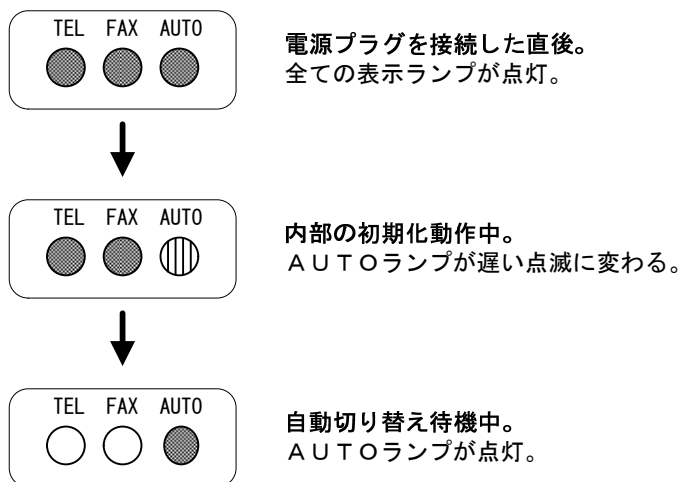
接続方法 —電源—

◎電源プラグを差し込みます

- 電話回線・電話機・FAXの接続が完了したら、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む。



- 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み終わると、表示ランプが下記の状態になる。

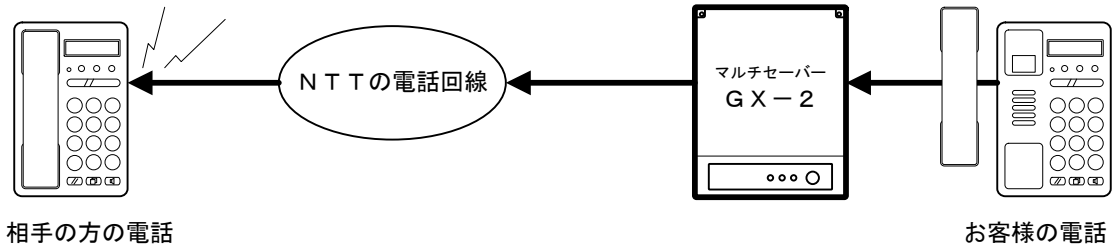


●停電時の状態

停電時は、自動切り替え、FAX着信優先の動作は行いません。
電話回線と電話端子が接続され、全て（FAXが送られてきても）電話端子を呼び出します。
また、FAX端子は使用できなくなります。

基本操作を覚えましょう —電話の操作—

◎電話をかける



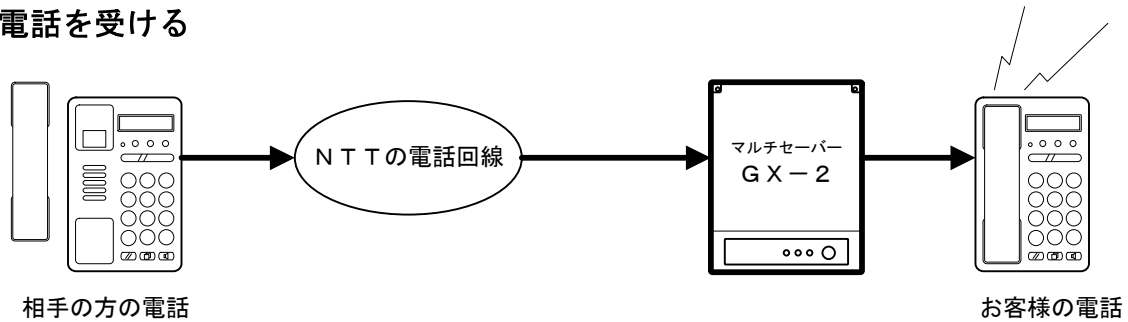
- 1 受話器を上げて、“ツー”という音を確認する。
- 2 電話番号をダイヤルし、相手の方が電話に出たらお話しください。
- 3 お話しがすんだら、受話器をおろす。

①の操作で、受話器から“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、FAXの通信中かマルチセーバーの自動切り替え動作中なので、受話器をおろしてください。

③の操作で、お客様が受話器をおろして約3秒経ってから、マルチセーバーはお話しが終わったと判断します。
(お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約3秒ほど間をおいてください。)

基本操作を覚えましょう —電話の操作—

◎電話を受ける



1

電話がかかってきたら、マルチセーバーが着信（受話器を上げる動作）する。
相手の方には、“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえる。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切り替え監視時間（8秒）中は、電話のベルが鳴りません。
相手の方がFAXでなければ、自動切り替え監視時間の経過後、電話を呼び出す。

2

電話のベルが鳴る。

3

受話器を上げて、お話しください。

4

お話しがすんだら、受話器をおろす。

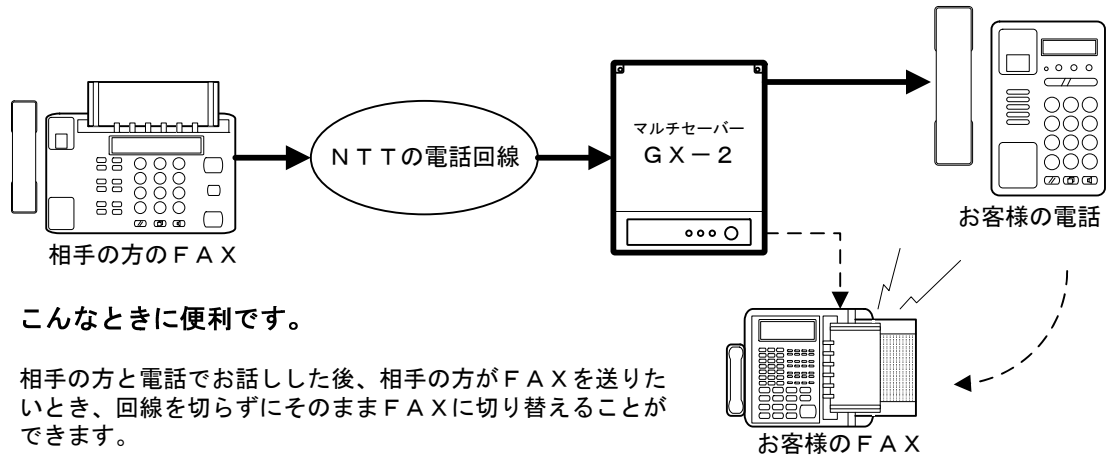
①と②の動作中に、相手の方が電話の受話器をおろしたときは、NTTの回線から相手の方が電話の受話器をおろしたという信号（“ツーツ ツーツ”という音）をマルチセーバーが認識し、その時点で動作を中断します。

電話を呼び出しても受話器を上げないとき、60回電話を呼び出した後“呼び出しましたが近くにおりません、後ほどおかけ直してください”というメッセージを2回伝えて、電話を切ります。

お客様が受話器をおろして約3秒経ってから、マルチセーバーはお話しが終わったと判断します。
（お話しが終わって続けて電話をかけるときは、約3秒ほど間をおいてください。）

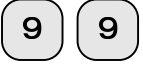
基本操作を覚えましょう —電話からFAXへ—

◎受けた電話をFAXに切り替える



こんなときに便利です。

相手の方と電話でお話しした後、相手の方がFAXを送りたいとき、回線を切らずにそのままFAXに切り替えることができます。

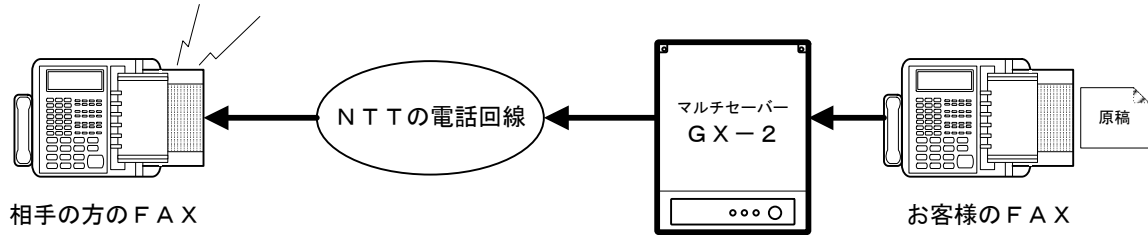
- 1 相手の方に、FAXに切り替えることを伝える。
- 2  を押す。
- 3 10秒以内に受話器をおろす。
- 4 相手の方に“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえ、FAXを呼び出す。
お客様のFAXが着信（FAXを受信できる状態）してから、相手の方がスタートボタンを押すと、FAXの受信が始まる。
FAXの受信が終われば、自動的に動作が終わる。

お客様のFAXは、自動受信モードに切り替えてください。
手動モードや電話モードでは、FAXを呼び出しても着信（FAXを受信できる状態）せず、FAXの受信ができません。

FAXの操作方法については、ご使用FAXの取扱説明書を参照してください。

基本操作を覚えましょう — F A X の操作 —

◎ F A X を送る



- ① FAXに原稿をセットする。
- ② FAX番号をダイヤルし、スタートボタンを押す。
- ③ 相手のFAXが着信し、自動的にFAXが送信される。
- ④ FAXの送信が終わると、自動的に動作が終わる。

②より後の操作は、一般的なFAXの操作です。
ご使用FAXの取扱説明書を参照してください。

電話の使用中は、FAXの送信ができません。

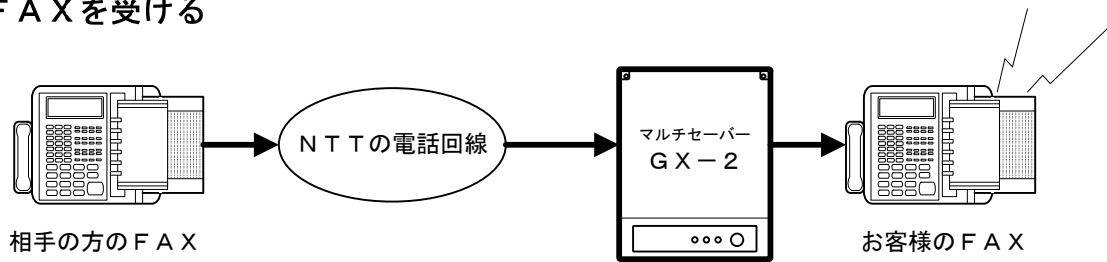
電話の使用中にFAXを送ろうとすると、FAXから“ツーツ ツーツ”という話し中の音が聞こえるので、電話が終わってからFAXを送ってください。

ご使用のFAXによっては電話回線の極性を合わせて接続しないと、FAXを送れないときがあります。

『送信エラーになってしまう』などの症状がおこるときは、『電話回線の極性を調べたいときには』頁27を参照の上、『電話回線の L1 がプラス』であることを確認してください。

基本操作を覚えましょう — F A X の操作 —

◎ F A X を受ける



1

F A X が送られてくると、マルチセーバーが着信（受話器を上げる動作）する。
（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

自動切り替え監視時間（8秒）中に、F A X の信号（C N G 信号）を認識し F A X を呼び出す。

2

F A X が着信（F A X を受信できる状態）したら、自動的に F A X を受信する。

3

F A X の受信が終われば、自動的に動作が終わる。

C N G 信号とは、F A X を送ろうとしていることを知らせるための信号です。
“ポーッ ポーッ”という、ゆっくりした間隔の音が聞こえます。

お客様の F A X は、必ず自動受信モードに切り替えておいてください。
手動モードや電話モードでは、F A X を呼び出しても着信（F A X を受信できる状態）せず、F A X の受信ができません。

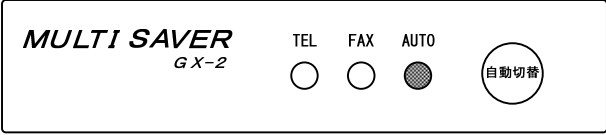
F A X を呼び出しても着信（F A X を受信できる状態）しないとき、60回呼び出した後“呼び出しましたが近くにおりません、後ほどおかけ直してください”というメッセージを2回伝えて、回線を切ります。

また、F A X が呼び出されてから着信するまでの時間（回数）は、出きる限り短く（少なく）してください。
ご使用 F A X の取扱説明書を参照してください。

F A X が着信するまでの時間（回数）が長く（多く）かかりすぎるときは、相手の方の F A X が送信を中断してしまうことがあります。（自動送信の F A X の場合は全て）

基本操作を覚えましょう —自動切替ボタンの操作—

◎自動切り替えを解除する

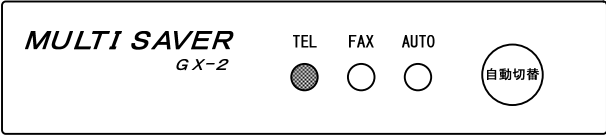
- 

MULTI SAVER
GX-2

TEL FAX AUTO

自動切替

TELとFAXの表示ランプが消えて、AUTOの表示ランプが点灯していることを確かめる。

自動切替 ボタンを押す。
 - 

MULTI SAVER
GX-2

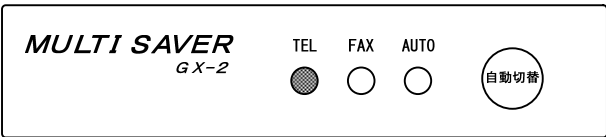
TEL FAX AUTO

自動切替

AUTOの表示ランプが消えて、TELまたはFAXの表示ランプが点灯することを確認する。

『自動切り替えが解除されました。』
- 自動切替ボタンを押してもAUTOの表示ランプが消えないときは、『電話にだけ着信させる』頁23または、『FAXにだけ着信させる』頁24の操作を行ってください。
- マルチセーバーに着信優先端子の設定が行われていないと、自動切り替えの解除ができません。

◎自動切り替えをセットする

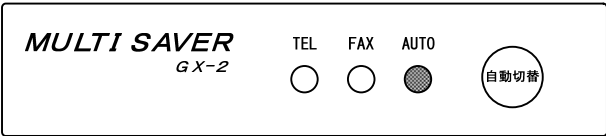
- 

MULTI SAVER
GX-2

TEL FAX AUTO

自動切替

TELまたはFAXの表示ランプが点灯し、AUTOの表示ランプが消えていることを確かめる。

自動切替 ボタンを押す。
- 

MULTI SAVER
GX-2

TEL FAX AUTO

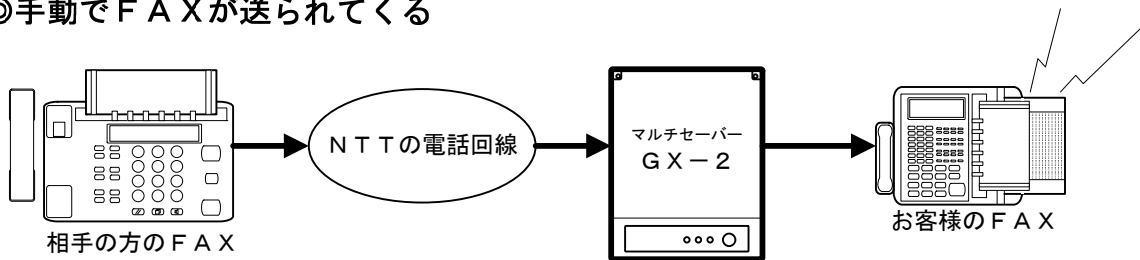
自動切替

TELまたはFAXの表示ランプが消え、AUTOの表示ランプが点灯することを確認する。

『自動切り替えがセットされました。』

こんなときには

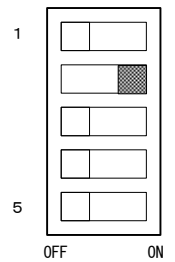
◎手動でFAXが送られてくる



手動でFAXが送られるとは

相手の方が受話器を上げてマルチセーバーに電話をかけ、お客様のFAXが受信状態になってから、相手の方がスタートボタンを押してFAXの送信が始まるFAXの送り方です。

FAXの信号（CNG信号）を認識しませんので通常は電話を呼び出します。



設定スイッチ 2をONにする。

設定スイッチ

マルチセーバー裏面の設定スイッチ 2 をONに設定する。

手動でFAXが送られてきたら、マルチセーバーが着信（受話器を上げる動作）します。相手の方には“ツルルルル”という呼び出し音が聞こえます。（相手の方には、この時点から通話料がかかります。）

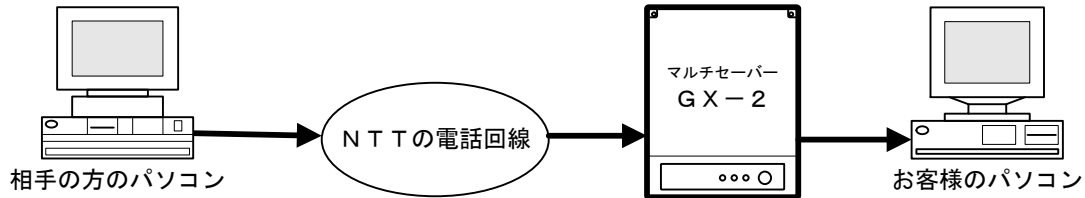
自動切り替え監視時間（8秒）の経過後、相手の方に“電話をおつなぎします、しばらくお待ちください。ファクシミリの方は、#を押した後にスタートボタンを押してください”というメッセージを伝えます。

メッセージが終わってから5秒以内（メッセージが聞こえている間も # を認識します）に、相手の方が # を押せば、お客様のFAXを呼び出します。

メッセージが終わって、5秒を経過しても相手の方が # を押さなかったときは、電話を呼び出しません。

こんなときには

◎ F A X端子にパソコン（モデム）を接続する



電話／FAX一体型機器などを電話端子に接続している場合は、FAX端子にパソコン（モデム）などの接続ができません。

FAXの受信を、電話／FAX一体型機器で受信するとき、『設定スイッチ 3 を ON』にパソコン（FAXモデム）で受信するとき、『設定スイッチ 3 を OFF』にする。

● パソコン（モデム）を呼び出すには

パソコン（モデム）を呼び出すには、マルチサーバーが着信した後（受話器を上げた状態になった後）、相手の方のパソコン（モデム）からFAX端子に切り替えるためのコマンド『 # 9 9 』を出してもらう必要があります。

但し、FAXモデムでFAXの受信をするときは不要です。

通信ソフトがハイパーターミナルなどの例

（電話番号が03-1234-5678のとき）

『電話番号の情報を入力してください』の画面で、電話番号（P）：の後に下記の入力をする。

相手がPB回線（プッシュ回線）のとき

電話番号(P) : 0312345678, , #99#99#99

相手がDP回線（ダイヤル回線）のとき

電話番号(P) : 0312345678, , T#99#99#99

相手がISDN回線（TAのアナログポートに接続）のとき

電話番号(P) : 0312345678#, , #99#99#99

電話番号の後に入力する（ , ）カンマは、ダイヤル終了から、NTTの電話回線がマルチサーバーを呼び出す時間に合わせて調整します。

モデムの機種および設定によってポーズ時間が異なりますので、お使いのモデムの機種及び設定により、『約6秒を目安に』（ , ）の数を設定してください。

また、回線の状態によっては6秒では短すぎる場合がありますので、実際の回線でダイヤル終了からマルチサーバーを呼び出すまでの時間になるように、（ , ）の数を調整してください。

相手の方のパソコン（モデム）の機種や通信ソフトによっては、操作ができない場合があります。相手の方に確認して、ご利用ください。

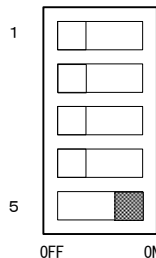
こんなときには

◎自動切り替え監視時間を変更する

自動切り替え監視時間は工場出荷時、8秒に設定されています。

自動切り替え監視時間は、4秒、8秒、12秒から選択できます。

自動切り替え監視時間を短くすると、FAXの信号を認識できずに、FAXでも電話を呼び出すことがあります。



設定スイッチ 5 をONにする。

設定スイッチ

1

TEL FAX AUTO



全ての表示ランプが速い点滅に変わるまで



ボタンを押す。

受話器を上げて、“プッ プッ”という連続音を確認する。

2

#

を押す。

3

*

2

0

を押す。

4

自動切り替え監視時間『1 = 4秒、2 = 8秒、3 = 12秒』を選ぶ。

(例えば12秒のとき)

3

を押す。

#

を押す。

“プッ プッ プッ プッ”という確認音が聞こえ、自動切り替え監視時間の変更完了。

5

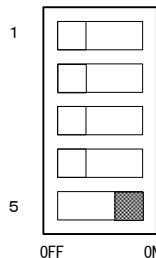
受話器をおろす。

操作の途中で“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、操作が間違っています。操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

こんなときには

◎電話にだけ着信させる

自動切り替えをしないで、電話端子にだけ着信させることができます。




設定スイッチ 5 をONにする。

設定スイッチ

- 1 TEL FAX AUTO
⊖ ⊖ ⊖ 全ての表示ランプが速い点滅に変わるまで  ボタンを押す。
受話器を上げて、“プッ プッ”という連続音を確かめる。
- 2  を押す。
- 3  を押す。
- 4  を押す。
 を押す。
“プッ プッ プッ プッ”という確認音が聞こえ、電話着信優先の設定完了。
- 5 受話器をおろす。

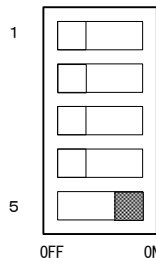
操作の途中で“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、操作が間違っています。操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

電話着信優先を解除するには④の操作で  を押す。

こんなときには

◎ F A Xにだけ着信させる

自動切り替えをしないで、F A X端子にだけ着信させることができます。



設定スイッチ 5 をONにする。

設定スイッチ

①

TEL FAX AUTO



全ての表示ランプが速い点滅に変わるまで



ボタンを押す。

受話器を上げて、“プッ プッ”という連続音を確認する。

②

#

を押す。

③

*

2

1

を押す。

④

2

を押す。

#

を押す。

“プッ プッ プッ プッ”という確認音が聞こえ、F A X着信優先の設定完了。

⑤

受話器をおろす。

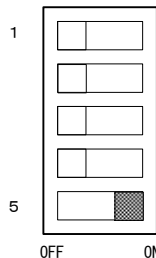
操作の途中で“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、操作が間違っています。操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

F A X着信優先を解除するには④の操作で **0** を押す。

こんなときには

◎電話に应答しないときFAXを呼び出す

自動切り替え時に電話端子を10回呼び出しても应答しない（受話器を上げない）とき、FAX端子を呼び出すことができます。




設定スイッチ 5 をONにする。

設定スイッチ

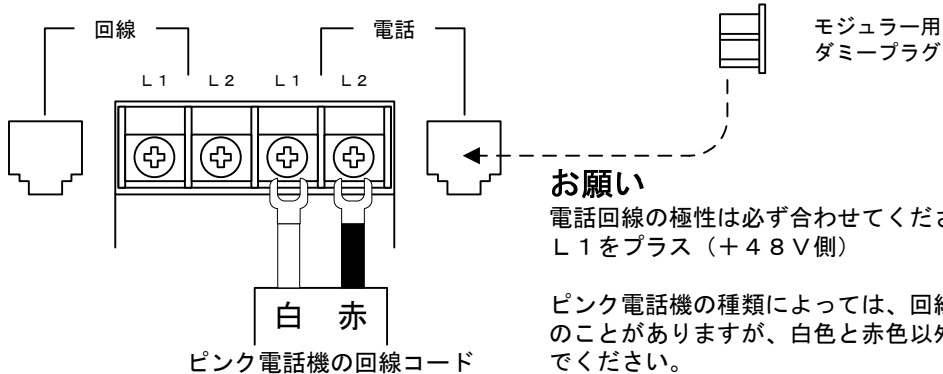
- 1 TEL FAX AUTO
⊕ ⊕ ⊕ 全ての表示ランプが速い点滅に変わるまで  ボタンを押す。
受話器を上げて、“プッ プッ”という連続音を確認する。
- 2  を押す。
- 3  を押す。
- 4  を押す。
 を押す。
“プッ プッ プッ プッ”という確認音が聞こえ、設定完了。
- 5 受話器をおろす。

操作の途中で“ツーッ ツーッ”という話し中の音が聞こえるときは、操作が間違っています。操作方法を再度確認し、①の操作からやり直してください。

工場出荷時の設定に戻すには④の操作で  を押す。

こんなときには

◎ピンク電話を接続する



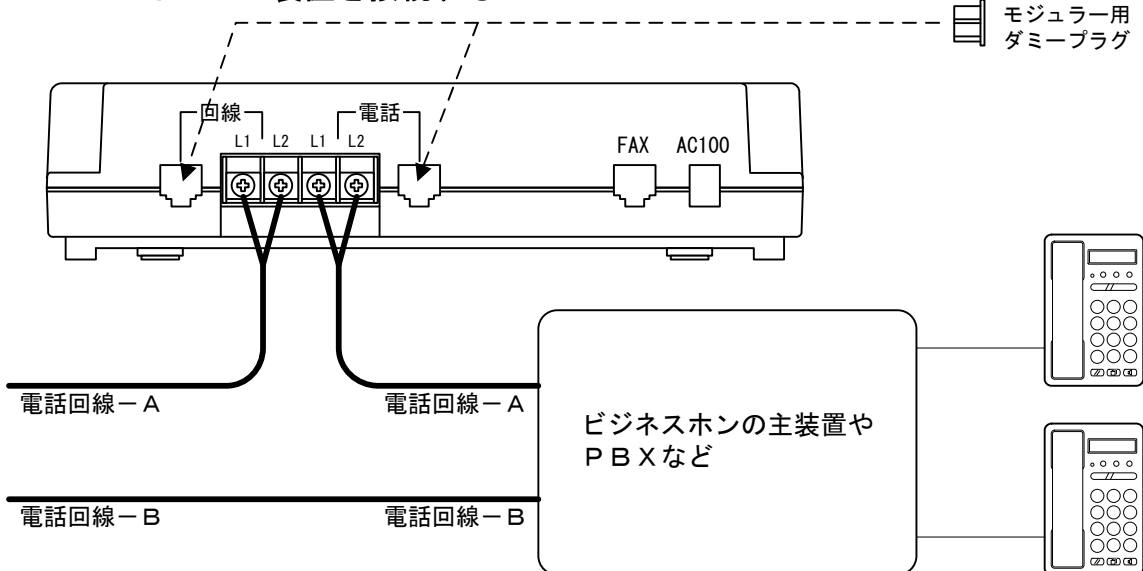
お願い

電話回線の極性は必ず合わせてください。
L 1 をプラス (+48V 側)

ピンク電話機の種類によっては、回線コードの線が3本のことがあります。白色と赤色以外の線は接続しないでください。

1. ピンク電話機の回線コードの白色を、電話端子用ネジ端子のL 1 側に接続する。
赤色を、電話端子用ネジ端子のL 2 側に接続する。
2. 電話回線の極性がL 1 がプラスであることを確認する。(頁27参照)
3. 最後に、ピンク電話機に10円を入れて、電話が正常にかけられることを確認する。

◎ビジネスホンの主装置を接続する



1. マルチセーバーに接続する側の電話回線(説明では電話回線-Aとする)を、マルチセーバーの電話回線端子に接続する。
電話回線の極性がL 1 がプラスであることを確認する。(頁27参照)
2. マルチセーバーの電話回線用ネジ端子のL 1 を、主装置の電話回線-A側のL 1 に接続する。
L 2 を、主装置の電話回線-A側のL 2 に接続する。
(ご使用の機器により、主装置の表示は異なりますので、ご使用機器の取扱説明書を参照してください。)
3. 電話機の発信、着信の確認を行う。

こんなときには

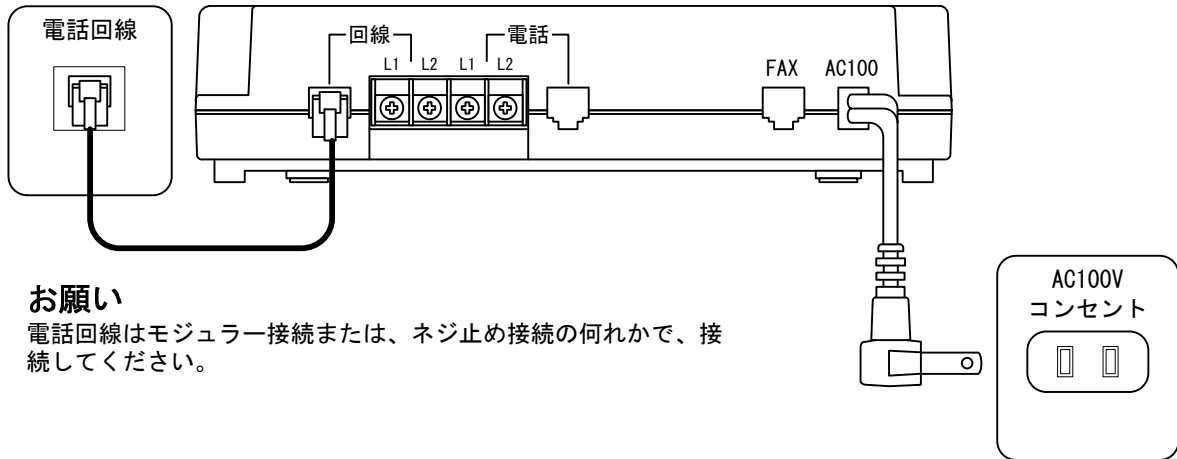
◎電話回線の極性を調べる

マルチセーバーに接続する機器によっては、電話回線の極性を合わせて接続しなければ、正常に動作しないことがあります。

例えば、『電話端子にボタン電話やビジネスホンの主装置やピンク電話』を接続するとき、『FAX端子に回線の極性を合わせる必要のあるFAX』を接続するときなど。
詳細な内容は、ご使用になる機器の取扱説明書を参照して下さい。

下記の操作で電話回線の極性を調べることができます。

自動切り替え待機時の端末側（電話端子・FAX端子）は、L1にプラスが出力されます。



お願い

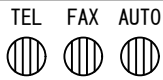
電話回線はモジュラー接続または、ネジ止め接続の何れかで、接続してください。

1

自動切替

ボタンを押したまま、電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む。

2

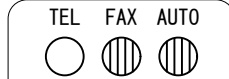


全ての表示ランプが、ゆっくりとした点滅になる。

3



L1がプラス



L1がマイナス



回線が接続されてない
または、ショートしている

4

自動切替

ボタンを押す。

こんなときには

◎困ったときのアドバイス

症 状	チェック	対処法
マルチセーバーの表示ランプが全て消えている。	電源プラグは正しくAC100Vコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグを正しくAC100Vコンセントに差し込む。 (頁13参照)
電話がかけられない。	電話のモジュラーコードは正しく接続されていますか？ FAXが通信中ではありませんか？ ビジネスホンやボタン電話、または、ピンク電話をお使いのとき、電話回線の極性は正しく接続されていますか？	電話のモジュラーコードをマルチセーバーの電話端子に差し込む。 (頁11参照) FAXの通信中は、電話はかけられません。FAXが終わってからかけ直す。 (頁14参照) 電話回線の極性を正しく接続する。 (頁27参照)
FAXが送れない。	FAXのモジュラーコードは正しく接続されていますか？ 電話が通話中ではありませんか？ 電話回線の極性は正しく接続されていますか？	FAXのモジュラーコードをマルチセーバーのFAX端子に差し込む。 (頁12参照) 電話の通話中は、FAXは送れません。電話が終わってから送り直す。 (頁17参照) 電話回線の極性を正しく接続する。 (頁27参照)
電話又はFAXを使おうとすると、カチッ・カチッという音が周期的に聞こえて、使うことができない。	電話回線は正しく接続されていますか？	電話回線をマルチセーバーの電話回線端子に正しく接続する。 (頁10参照)
コードレス電話の親機のベルは鳴るが、子機のベルが鳴らない。	子機のベルは、鳴るように設定されていますか？ マルチセーバーの電源を抜いていると、子機のベルが鳴りますか？	子機のベルが鳴るように設定する。 マルチセーバー裏面の設定スイッチ 1 をONに設定する。 (頁9参照)
FAXが送られてきたのに、電話のベルが鳴る。	相手の方が手動でFAXを送っていませんか？	マルチセーバー裏面の設定スイッチ 2 をONに設定する。 (頁20参照) 電話からFAXへ切り替える。 (頁16参照)

お問い合わせ・保証について

◎お客様サポートセンターへのお問い合わせ

お問い合わせになる前に、『困ったときのアドバイス』（頁28）を一度お読みください。

お問い合わせの際には、

- 機種名（マルチセーバー GX-2）
- 製造番号（裏面のシールに記載）

をお知らせください。

ご使用の電話機とFAXのメーカー名及び機種名をあかじめお調べください。
つぎに、具体的な症状をご連絡ください。

サポートセンターの電話番号 『 0120-34-3563 』

受付時間

平日 AM9:00～PM5:00 （土曜日・日曜日・祝日は受け付けておりません。）

株式会社モリテック お客様サポートセンター

〒730-0841 広島県広島市中区舟入町2-20
三栄広島ビル2F

TEL: (082) 234-3563

FAX: (082) 234-3593

◎保証について

保証期間（1年間）中の故障は、無償で修理いたします。

お買い求めの販売店で『保証書』に必要事項を記入してもらってください。

『保証書』は大切に保管してください。

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などによって、通話、FAX受信などの機会を逸したために生じた損害などについては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証期間中でも有償修理になることがあります。

- 『保証書』をご提示されないとき。
- 『保証書』の所定事項の未記入または字句の訂正をされたとき。
- お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障のとき。
（落とされたり、内部に手を加えられたり、水に濡らされたり、など）
- 火災・天災（落雷など）・異常電圧（電源電圧が高いなど）などによる故障のとき。
- 取扱説明書に記載されていないようなご使用方法、注意事項を無視したご使用による原因で故障したとき。
- 弊社、または弊社の指定する販売店以外で、故障修理を行われたり、改造されたりしたとき。

お問い合わせ・保証について

◎マルチセーバーを修理に出される時のお願い

マルチセーバーを修理に出されるときには、お客様が設定された『自動切り替え監視時間等の設定内容』を、必ず控えておいてください。
修理の際に、お客様の設定された内容が失われる場合があります。

また、直接弊社に修理をご依頼になるときは、事前にお客様サポートセンターにご連絡ください。

主な仕様

◎マルチセーバーの主な仕様

適用回線	一般加入者回線
直流抵抗値	216Ω
電話端子 (端末数)	認定品端末機器 1台
FAX端子 (端末数)	認定品端末機器 1台
電話端子 (呼出回数)	最大60回 (60回呼び出しても応答しない場合、メッセージ出力後に回線を開放します)
FAX端子 (呼出回数)	最大60回 (60回呼び出しても応答しない場合、メッセージ出力後に回線を開放します)
切り替え方式	CNG信号・PB信号(#00・#99・#)
自動切り替え 監視時間	工場出荷時(8秒) 『設定により 4秒・12秒に変更可能』
寸法	200mm × 250mm × 46mm (幅 × 奥行 × 高さ)
重量	1.2kg
消費電力	待機時: 約5W 動作時最大: 約12W
電源	電圧: AC100V±10V 周波数: 50/60Hz
使用環境	温度: 0℃~40℃(結露無き事) 湿度: 20%~80%RH(結露無き事)

株式会社モリテック

〒730-0841 広島県広島市中舟入町2-20

TEL:082-234-3563

FAX:082-234-3593

このたびは、マルチセーバー（GX-2）をお買い上げいただきありがとうございます。

マルチセーバー（GX-2）をお使いになる前に、本取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後も、保証書とともに大切に保管してください。

本装置は日本国内仕様ですので、海外の規格などには準拠しておりません。
本装置を日本国外で使用された場合、弊社ではいっさい責任を負いませんので、ご了承ください。

お買い上げ年月日	お買い上げ販売店名	電話番号